

長中だより

平成27年10月6日
第40号
伊豆の国市立長岡中学校

文責 松下八十二

クラス合唱の紹介です。今回は3年4組と3年5組です。学校の顔としてここまで長岡中を牽引してきた自信からでしょうか、3年生の合唱はどのクラスも「さすが3年生」と思わせる素晴らしい歌声です。どんな合唱に仕上がっているかは、当日を楽しみにしてください。

3年4組 曲：夏

【曲紹介】

私たちのクラス曲は『夏』です。広島で原爆が落とされたことにより、父親が亡くなった悲しさと生きた人たちの強さの思いがこもった歌です。曲の聞きどころは、サビの所のアルトと

テノールとソプラノが追いかけて歌っているところです。

【指揮者：江本蓮汰郎さん】

僕たち3年生は最後のかつらぎ祭なので、僕は指揮者としてクラスをまとめ必ず金賞を取りたいと思います。

【伴奏者：杉山智夏子さん】

3-4の伴奏者として、頑張ります。去年みたいな失敗がないようにしたいです。

【パートリーダー(テノール)：中野 迅人さん、池上 翔さん】

3年生として最後のかつらぎ祭なので、パートリーダーとしてクラスみんなをまとめ、金賞を取ってよい思い出をつくりたいです。

【パートリーダー(ソプラノ)：所 真波さん、鈴木 沙羅さん】

最後のかつらぎ祭なので、悔いが残らないように一生懸命合唱がよくなるよう頑張ります。(所) 誰よりも声を出し、クラスを金賞に導けるように頑張ります。(鈴木)

【パートリーダー(アルト)：芹澤 玲香さん、関野 知佳さん】

アルトなりの声を出せるように、3-4なりの声が出せるようにしたいです。(芹澤)

今まで1度も賞を取ったことがないので、3-4の歌声を会場いっぱい響かせ、一番輝く色の賞を取りたいです。(関野)

【イメージ画：杉山 芽衣さん】

この絵は華やかさとさびしさが感じられるように描きました。歌詞の内容が難しいので、この絵を見ていろいろ想像してもらいたいです。



3年5組 曲：海に沈んだ馬

【曲紹介】

私たちが歌う『海に沈んだ馬』は、戦時中に爆撃を受けた船から取り残され、海に沈んでいく馬の気持ちを合唱曲にしています。馬を助けられず、見殺しにする人間、誰のせいかを問う

馬、この世の正義は何か、平和とは何かを私たちに問いかけます。私たち3年5組は、この曲の意味を理解し、一人ひとりがクラスの絆を繋いで歌い上げます。

【指揮者：澤里 拓真さん】

歌の強弱をつけ、みんなが歌いやすいような指揮をしたいと思います。金賞を目指します。

【伴奏者：櫻田 侑里さん】

体育の部の悔しさをバネにして、日々合唱の練習に励んでいます。伴奏者として、全員の心を1つにして必ず金賞をとります。

【パートリーダー(テノール)：高村 貫太さん、金谷謙汰郎さん】

男子の方が人数が多いので、男子が引っ張っていけるようにしたいです。

【パートリーダー(ソプラノ)：古木 愛美さん、櫻田 侑里さん】

ソプラノはよく声が出るので、強弱をつけるようにしたいです。ソプラノが他のパートを引っ張れるくらい声を出すようにしたいです。

【パートリーダー(アルト)：悴田 優花さん、山口 茉耶さん】

アルトパートのリーダーとして、人一倍声を出し「海に沈んだ馬」の世界観を出します。絶対に金賞を取ります。

【イメージ画：花田 愛美さん、海野 彩未さん】

この曲は戦争がテーマとされています。ソプラノ、アルト、テノールで、主役である馬の最後を、体育館中に奏でられたらと思います。私は、イメージ画で、色づけを担当しました。海に沈んだ馬は強弱が激しいので、馬が沈むまでの様子を、耳を澄まして聞いてください。



3年生中間発表会より

ラジカセを購入しました

合唱練習に熱が入ってくると同時に、各クラスから「練習をしたいけど、クラスにラジカセがない」という声が聞かれるようになりました。各クラス1台の割り当てでラジカセを配布してあり

りますが、パート練習をするためには、1台では足りないと言うことでした。『頑張っている生徒を応援するためにも何とかしたい』という担任の先生の強い要望で、各クラスにさらに1台ずつラジカセを配布することにしました。

配布するのはいいが購入する資金をどうするか校長先生と事務の先生に相談したところ、『生徒が集めて得たお金なので、生徒に還元することが一番である』という考えから、生徒が今まで一生懸命に集めてきたアルミ缶回収のお金で購入することになりました。写真にあるようなラジカセを購入し、各クラスに配布しました。

今回のように、アルミ缶回収で得たお金は、生徒のためになるように使っていきたいと考えています。アルミ缶回収は今後も継続して行っていく予定なので、保護者の皆様もアルミ缶回収にぜひ協力をお願いします。

